

発行所
秋田県天王町役場
(天王局 1番42番
135番)

編集
天王町役場総務課

印刷
一日市印刷所
電話 38番

うんのてん報広

第25号 昭和41年4月1日発行

天王町	
本籍数	4,000
人口	14,058
世帯数	2,705
住民登録人口	13,064
内 男	6,480
女	6,584
3月1日現在	

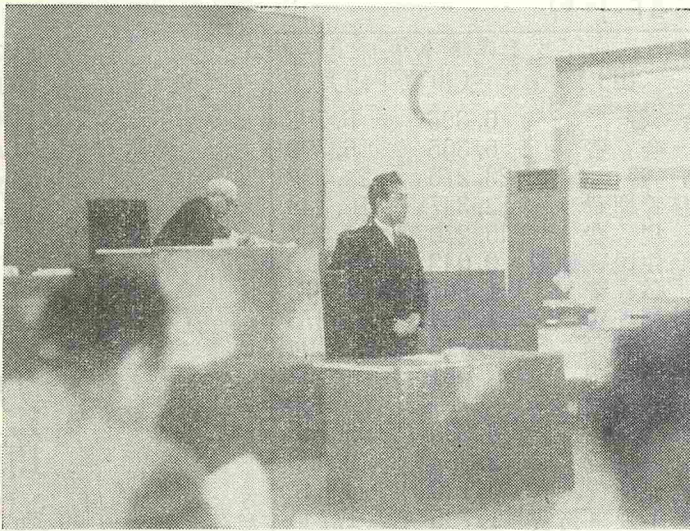
3月定例町会終る

20案件を原案可決

40年度一般会計200万円減額

三月定例町議会が先月九日開会された。会期十八日間としたあと、本会議二日目の十日、藤原町長は「ことしは本町のすべてにおいて飛躍、発展すべき年である」と決意し、こん身の勇氣を持って諸問題に対処する覚悟である」と施政方針を演説。上程された二十案件を日程に従って審議し、それぞれ原案可決して二十六日閉会した。

三月町議会各議案が可決され、次のようになります。	民生費	△二八六千円	
◎四十年一般会計予算で今回補正された額は、	衛生費	△九〇五千円	
歳入(△は減額)	労働費	△一、三五七千円	
地方交付税	農林水産費	△二八一千円	
一、八〇六千円	土木費	△八七〇千円	
国庫支出金	消防費	△三三〇千円	
二二九千円	教育費	二九四千円	
県支出金	二七〇千円	公債費	六五八千円
財産収入	△四、四七七千円	以上のように入歳、歳出はそれぞれ二百一十七万七千減額され	
寄入金	一九三千円	四十年一般会計予算の総額は	
歳入	△三八千円	一億三千六百六十九万九千円となります。	
歳出	△五九千円		
議費	△一、一九九千円		
総務費	△一、一九九千円		



議案を説明する藤原町長

◎四十年国民健康保険特別会計予算は、歳入、歳出をそれぞれ十七万六千円減額し、予算総額は四千二百三十八万八千円。また、四十年簡易水道特別会計も歳入、歳出がそれぞれ五万六千円減額され、予算総額は四百五十万二千円となります。

◎天中PTA(会長京谷英三郎氏)から申し出のあった同中の図書購入費用にあてるための寄付金十万円は、採納するものとなりました。

◎町立幼稚園の保育料は、四月から千二百円(いままで千円)となります。

◎議長、副議長、議員の報酬は、それぞれ二千円ずつアップされ、議長の月額は一万四千円、副議長一万三千円、議員は一万二千円となります。

◎議員の費用弁償および職員特別職員、消防団員などの旅費のうち、宿泊料は県内千八百円(いままで千三百円)県外二千

三百円(同千五百円)に引き上げられました。

◎簡易水道料金は四月一日から次のように改正されます。

—専用給水装置—
基本料金(カクコ内はいままで)の料金)
▽家庭用・計量制 十立方メートル 三百五十円(二百七十円)、▽団体用 二十立方メートル 七百八十円(六百円)
▽営業用 十立方メートル 五百二十円(四百円)
▽浴場営業用 二百立方メートル 三千二百五十円(二千五百円)、▽工業用等 百立方メートル 三千九百円(三千円)
▽臨時用 一立方メートル 八十円(六十円)。
超過料金(一立方メートルにつき。カクコ内はいままで)
▽家庭用・計量制、団体用 四十円(三十円)、▽営業用 六十円(四十五円)、▽浴場営業用 二十円(十五円)、▽工業用等 五十円(四十円)、▽臨時用 八十円(六十円)。
—共用給水装置—
共用給水装置による料金はすえ置きとなります。

◎特殊勤務手当では、これまでの歩合制から月額千円以内で町長の定める額に改正。

◎国民健康保険の被保険者が出産した場合、その出生児を育てるとき出産の日から起算して六ヶ月間、栄養品または母乳代が支給されます。

◎天王町消防団の設置および団員の任免、給与、服務などに関する条例が制定され、これに関する昭和二十五年天王町条例は廃止されます。

◎天王町課室設置条例が改正され、課室の区分は次のようになります。

企画室 総務課 税務課 経

施政方針を聞く傍聴者

済課 建設課 町民課 収入役室

◎任期満了に伴う天王町監査委員には金栄一氏(大崎)が選任されました。



任用候補者は七名

四十一年度の「天王町職員採用試験」が、三月十三日に行なわれた。今回の試験は男子のみで、受付最終日の三月十日までに十九名が申込み、このうち十三名が当日受験した。

第一次試験は、作文(題「社会」 三十分)、珠算(見取り算五題、乗算五題 十分)、一般教養(五十問 二時間)の三つを実施。これの合格者が第二次試験(口述)を行なった。

第一次、第二次試験とも合格したのは七名で、三月十六日に任用候補者名簿(有効期間 四十二年三月十五日までの一年間)に登録された。

合格者氏名
足利公雄(上江川)、石黒敏二郎(天王)、中泉作右エ門(追分西)、鈴木正輝(羽立)、桜庭久俊(塩口)、佐々木周悦(追分)、高橋金一(二田)

— 4 1 年 度 予 算 —

一 般 計 1 億 1, 9 3 9 万 3 千 円

国保 4, 6 6 4 万 8 千 円 水道 4 5 3 万 4 千 円

昭和41年度天王町一般会計予算

款 項 (歳入)		前年度予算額	本年度予算額	款 項 (歳出)		前年度予算額	本年度予算額
		(単位千円)				(単位千円)	
1	町 税	31,017	34,081	1	議 会 費	6,305	6,702
1.	町 民 税	6,966	7,843	1.	議 会 費	6,305	6,702
2.	固定資産税	15,914	16,970	2	総 務 費	23,275	26,302
3.	軽自動車税	1,235	1,467	1.	総務管理費	13,347	16,848
4.	町たばこ消費税	4,800	5,200	2.	徴 税 費	5,270	5,707
5.	電気ガス税	2,101	2,600	3.	戸籍住民登録費	2,043	1,672
6.	旧法による税	1	1	4.	選挙費	1,367	1,018
2	地方交付税	56,374	65,821	5.	統計調査費	1,054	475
1.	地方交付税	56,374	65,821	6.	監査委員費	113	94
3	使用料, 手数料	3,697	4,190	7.	防災会議費	81	68
1.	使用料	3,151	3,585	8.	地域開発費	—	420
2.	手数料	546	605	3	民 生 費	8,350	9,086
4	国庫支出金	7,633	7,427	1.	社会福祉費	2,454	2,493
1.	国庫担負金	4,820	4,488	2.	児童福祉費	4,100	4,847
2.	国庫補助金	1,437	2,098	3.	国民年金事務費	1,795	1,745
3.	国委託金	1,376	841	4.	災害救助費	1	1
5	県支出金	1,862	2,683	4	衛 生 費	3,731	4,868
1.	県負担金	201	690	1.	保健衛生費	3,027	3,272
2.	県補助金	1,141	1,636	2.	清 掃 費	126	129
3.	県委託金	520	357	3.	上 水 道 費	578	1,467
6	財産収入	3	17	5	労 働 費	10,529	10,736
1.	財産運用収入	37	17	1.	失業対策費	10,344	10,614
7	寄付金	100	250	2.	労働諸費	185	122
1.	寄付金	100	250	6	農 林 水 産 業 費	9,653	10,199
8	繰越金	1	1	1.	農 業 費	9,373	10,083
1.	繰越金	1	1	2.	水 産 業 費	280	116
9	諸 収 入	1,091	1,223	7	商 工 費	385	331
1.	延滞金, 加算金 及 び 過 料	342	342	1.	商 工 費	385	331
2.	町預金利子	300	250	8	土 木 費	5,130	4,268
3.	雑 入	449	631	1.	土木管理費	403	675
10.	町 債	3,600	3,700	2.	道路橋梁費	4,105	3,090
1.	町 債	3,600	3,700	3.	住宅費	503	503
歳入合計		105,412	119,393	3.	都市計画費	119	—
				9	消 防 費	5,567	6,951
				1.	消 防 費	5,567	6,951
				10	教 育 費	26,508	31,145
				1.	教育総務費	4,972	5,219
				2.	天王小学校校費	4,473	4,614
				3.	出戸小学校校費	1,911	2,035
				4.	東湖小学校校費	1,997	2,258
				5.	追分小学校校費	1,818	2,038
				6.	天王中学校校費	4,928	4,903
				7.	天王町幼稚園費	1,211	1,290
				8.	出戸幼稚園費	600	4,102
				9.	学校給食費	2,162	2,387
				10.	社会教育費	2,082	2,074
				11.	公 債 費	354	225
				11	公 債 費	5,479	8,305
				1.	公 債 費	5,479	8,305
				12	予 備 費	500	500
				1.	予 備 費	500	500
				歳入合計		105,412	119,393

需用費を極力節減

天王町の四十一年度当初予算が決まった。一般会計は別表のとおり一億九百三十九万三千円、前年度より千三百九十八万円の増。また、特別会計の方は、国民健康保険事業が四千六百六十四万八千円で四十年

より四百七十七万四千円多くなり、簡易水道事業も四百五十三万四千円で七十五万五千円ふえている。四十一年度予算の特色としては、厳しい情勢を迎えている地方財政の中で、健全財政を原則とし、しかもできるだけ町民の

意志を反映させた町行政を行なおうとする配慮が十分にうかがえる。とくに、補助金の整備、需用費の節減などに重点がおかれ、事業費に関しては当初予算に計上せず、国や県の方針決定と相まつて、補正予算に計上してゆく方針がとられている。

議事長らに表彰状
県町村議会は、永年議会のものは、町立出戸幼稚園の新築工事費三百二十六万七千円、小型消防ポンプ(三台)購入の百十七万円、追分地区生徒の北中委託料および負担金の五十万八千円などとなっている。

議長および議員として地方自治の振興に功績のあつたものをこのほど表彰した。当町からは次の六氏が受彰し三月定例会開会の当日日本会議終了後伝達式を行なつた。

▽議長 藤原寛一
▽議員 京谷仁太郎、米谷多一郎、島崎竹治、大関銀治郎、故伊藤忠吉

会費を活動、研修に多く

PTA研究集会を開く



の真井田善悦氏が「PTA活動の歴史と今後の課題」と題して講義。続いて「PTAの運営はどうか」という主題の中に①部落PTAの効果的な運営②学校単位PTAの望ましい運営③会員（父兄）の効果的な学習計画のたて方—のサブテーマを設けて話を三つの分科会で話し合い。その後さらに全体研究するという方法がとられた。

町公民館とPTA連絡協議会は、去る三月十三日「PTA研究集会」を天王小学校で開催した。

PTAが学校教育の中になつてきたものは、はかり知れないものがあり、教育設備の充実に対する援助という一点をとって見ても、その果たしてきた役割りは大きい。しかし一方ではますます複雑化する社会情勢の中で、PTAの運営、活動も新たな局面を迎えている。

この研究集会は、町内の各学級PTAと部落PTAの役員が一同に集まって、これまでのPTAのあゆみにメスを入れ、今後の運営や活動はどうかあれば望ましいか、また、どうゆう方向をとらなければならぬか、その指針となるものをつかみとろうというもので今回が第一回。まず、県社教課成人教育係長

項の浸透、これらに関連した問題など当面する種々の問題について意見をかわし合った。とくに、父兄が子どもや教育者としてのよき理解者、正しい認識者となるために自らの学習計画のたて方を話し合おうという④の分科会は、大きな意義を持つていた。

こうして各分科会で討議されたものを、最後に全体研究会で検討した。この話し合いでは、家庭—部落—学校という三つの

作品を見て！ 卒業式にファッション・ショー



天王高等技芸学校（後藤春治校長）の卒業式は、三月十七日同校で行なわれたが、生徒の手によって作品展示会やファッション・ショーが催され、出席者の目を惹きました。

同校には和裁、洋裁、生花、編物の四教室が開設され、昼、夜間合わせて八十名の生徒がそれぞれ習得をしている。このうち速成科生十一名、本科生二名が六ヶ月—二年の習得期間を終了し卒業式を迎えたもので、父兄、関係者も多数出席した。

展示会場には、習得の結晶ともいふべき衣服を教室いっばいに陳列。その中へ抽象的に配置

土台の上に、子どもの健全育成と学習の向上という二つの柱をどう建てて、親、子、教師の三つをどう結びつけるか、環境はどうあればよいかなど次ぎ次ぎに論議がかわされた。

この会の開催によつて、PTAの運営や活動にますます変化をとういうことは早計であるが、全町のPTA幹部が一同に集まつて研究会を開いた意義は大きい。今後の方向に少なからず転換をもたらしてゆくだろう。

された生花が、会場にアクセントをつけた。

この日の呼び物ファッション・ショーは、静かな音楽の流れる中で始まり、洋服、編物、和服の順で五十余点が登場。幼児服からお年寄りの着物まで、次ぎ次ぎにひろうされた。お父さんの古ズボンから作つたというスラックスあり、デラックスな訪問着ありで、作品もはば広いもの。デザイナー兼モデルの生徒たちは懸命のポーズをとつて、「作品を見てよ、あたしも見てよ」といわんばかりに熱演していた。

自衛官になる 三人を激励

本町から自衛隊に入隊する三人を激励する会が、去る三月十六日役場内で開かれた。

入隊するのは村木正和（追分西）、竹沢園光（追分）、戸田金憲（天王）の三君で、村木君らは自衛官を志願しこのほどめでたく合格。四月に入隊することになったもの。

会には協力員、自衛隊地方連絡部員、来賓など十数名が出席して三君の前途を激励、祝福した。これに対し三人は「がんばります」と力強くこたえていた。

連合青年祭開く

町連合青年会（米谷克雄会長）は、四十年年度青年会活動の総締めくくりともいふべき「第十回青年祭」を先月十三日天王中学校で開催。座談会形式の「会活動と私生活」「魅力ある農村にするためには」の二分科会を中心に、県連青連藤副会長の講演レクチャーショーなどを行なつた。



三郎、桜庭三郎、桜庭幸重、体協会長賞—三浦丹、菊地次男、吉田清子、町連青会長賞—加藤久男、桜庭菊男、桜庭幸二郎、加藤光男、武田新悦、菅原養治、藤原由巳、伊藤節子、菊地澄子、笹淵悦子、佐々木宏次郎、佐々木勝身、鈴木作司、佐々木悦郎、三浦善美、同賞—大崎青年会上出戸青年会、感謝状—鈴木久米雄、児玉長栄

部落短信

大崎の三浦万太郎さん（六十歳）は、三月十三日胃かいようの症状が悪化して急ぎや秋田市の小泉病院に入院。即刻手術ということになったが同病院、果血液センターのいずれにも輸血に必要なO型のストックがないため、自衛隊秋田駐屯地部隊へ協力を求めた。同部隊からはたけつて十三名の隊員が病院にかけつけて献血。三浦さんの手術は無事行なわれた。手術後の経過は良好で家族、親せきの人たちから感謝されている。

☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆

▽町長賞—笹淵海紀男、桜庭東洋、▽教育委員長賞—桜庭クニ子、小野久男、佐々木良悦、三浦林一、▽公民館長賞—菊地

栄養改善講習二年目に

改善は住民一丸で

栄養改善指導者講習会(会長三浦ツタさん)は、初年度の講習会を終わりに三月九日に四十年度の閉講式を行なった。

講習会は、昨春本町が第三期栄養改善実践地区として県の指定を受けて四月に開講。県知事から委嘱された五十六人の栄養改善推進員が、南都講師(県栄養士・秋田保健所)から講義と実習指導を受けている。

第一年度は①部落有志に働きかけて、食生活改善への関心を喚起させ②伝達講習ができるようグループを結成してきた。さらに二年目の四十一年度は「組織活動」によって食生活の改善と台所改善を推し進める。――などに重点が置かれている。

食生活の改善や栄養改善は、私たちの食生活の中から欠陥や不合理をなくして健康の増進、能力の向上、道德の維持、あるいは生活文化の向上を図り経済のむだをはぶくという大きな意義を持つている。しかし、不合理的

四 天 光

追分西 渡部六愁

涙せんをぬらし花冷え感じやすき娘
噴きあがるごとくに晴るる朝がすみ
おぼろ町役場の夜警厳重に別れ霜松のみどりに化粧して
炉ふさぐや一日寒したなごころ

三月のリンゴ病者は小さくかむ
芽木とがる夕べの星に驛(かん)馬眠る
入学の子に馴(な)れやすき教師のひとみ

中による死亡者が多いのも、こうしたことが誘因しているといつても過言ではないでしょう。また、農村の人が都市部の人に比べて早く老衰する現象なども食生活の不合理が大きくとりあげられています。

この日の閉講式でも三浦会長は「受講で得た知識を一人でも多くの人に伝達し、明るい町づくりを。推進員の今後の活躍が大いに期待されるが、食習慣は長年にわたってつちかわれてきたものだけに、推進員の力だけで一朝一夕に改められるというものではありません。住民みんなが関心を持ち、一丸となつて取り組んでこそ効果があり、町の健康は自分で守ることが大切ですが、同時にみんなが健康でなければ、自分の健康も完全に保たれないことも忘れられないのです。

しかし、台所をあずかるものには栄養の知識がなかつたり、毎日の食生活が満腹主義や誤解された栄養知識によるものであつては、働く力が失われたり、病弱にかかりやすくなつたり、子どもが發育不良や虚弱になるといふことも起つてきます。時には生命さえ失ふということにもなりかねません。本県民が全国一不老、短命といわれたり、脳卒

みんなので防ごう

新入学児童の交通事故

四月々々―かわいらしい一年生が「行つてまいります」と元気に家を出ます。しかし、その子どもが悲しい交通事故の犠牲者になつては大変です。みんなで氣をつけて、子供を交通事故から守つてあげよう。

◎子どもに「車に氣をつけて」「右側を歩いて」と注意すること大切ですが、いつもゆとりを持って送り出すよう心がけましょう。あわてて登校するときや忘れもので引き返すときの子どもは、心理的に余裕を欠き注意力が弱くなつて危険です。

◎通学には少しぐらゐり道でも遠くなつても、車の少ない安全な道を通わせましょう。また子どもといつしよに歩いて道路

の横ぎり方を教えたり、いつもお父さんやお母さんが自ら交通ルールを守つて、手本となることも大切ですが、

◎近所の子どもが誘ひ合つていつしよに通学させることも安全です。登校、下校は上級生をリーダーに、グループで行動することも事故を少なくします。

◎車を運転される方は、子どもを見たら速度をおとして運転してください。子どもは、思わぬときに思わぬ行動にでるものです。

◎子どもを見たら、みんなが自分の子どもと思つて事故から守つてあげましょう。

狂犬病予防注射を

生後九十日以上以上の「犬」について狂犬病予防注射と登録の受け付けを行います。

犬の所有者は、法律によつて①年一回飼犬の登録をし②六ヶ月毎に狂犬病予防注射を受けさせる――という義務を課せられています。義札と注射済票をつけなければならないなりません。これを付けていない犬は捕獲され、その所有者は罰せられます。是非受けさせてください。

費用は登録料三百円、注射料二百円、注射済票三十円の合わせて五百三十円です。当日持参してください。

町消防団に

かんとうじゆ

天王町消防団(藤原吉治郎団長)は、先に県正庁で行なわれた消防功勞者の表彰式で、県知事からかんとうじゆ(竿頭綬)を贈られた。これは、同消防団が消防施設の強化、拡充に努め、消防力を高めたことに對するものである。



火災シーズン!

四月十一日から全県一斉に、「春の無火災強調週間」が始まります。これからは、空気が乾燥して火災がもつとも発生しやすくなります。

△四月二十五日(午後一時〜二時) 追分公民館前(金足地区) 追分、追分西、北野地区

△同二十六日(午前十時〜正午) 下戸神社前(上戸、下戸、細谷、出戸開拓、蒲沼沼台地区)

△同二十六日(午後一時〜二時) 大崎保育所前(大崎、野沢地区)

△同二十七日(午前十時〜正午) 役場前(二田、見玉地区)

△同二十八日(午前十時〜正午) 天王共有地事務所前(天王、江川地区)

△同二十八日(午後一時〜二時) 羽立劇場前(羽立、中羽立、渋谷、塩口地区)

※その他不明な点のお問い合わせは役場衛生係へ。

結核検診率%

火の元にご注意

中羽立結核予防婦人会(指導員菅生カネオさん、連絡員菅生トシさん)は、先に行なわれた結核検診の第一次検診で、なんと百分の受診率をあげ、このほど秋田保険所長から表彰された。

二月中に婚姻届のあつた方

(二)印は戸籍の筆頭者

美田市	土原 孝
鳥海村	大浦 正
金足	伊藤 幸
琴濱村	松村 純
塩浜村	谷村 一
京都	岡本 幸
羽賀	田本 之
大崎	川田 子
上戸	石井 清
秋田	石 慶
長野	斎藤 春
天野	藤原 正
五里	植田 子

40年度分は四月中に

三月分までの国民年金の保険料は、四月末日までに必ず納めてください。

保険料を納めないままでおると、大きなけがをしたときの障害年金や、夫に死なれて母子家庭になつたときの母子年金などが受けられなくなります。現に保険料を忘れられたり、遅れて納めたために、せつかくの年金を受けることができないという例が、あちこちでおきています。このようなことのないように、三月分までの保険料は四月中に必ず納めてください。

慶弔欄

二月中に死亡届のあつた方

福島県	山口 藤
船川港	吉田 孝
羽立	夏井 喜
大崎	黒井 代
岐阜	田中 子
福島	遠藤 大
二田	藤原 子
愛知	小松 子
不動	加藤 子
青森	猪俣 子
琴濱	伊藤 子
大崎	三浦 子
天野	伊藤 子
北海道	藤原 子

二月中に出生届のあつたもの
男十名、女三名、計十三名

江川	児玉 (68才)
細谷	佐藤 孝子 (4才)
天王	沼田 ユキ (70才)